



「自由な国」
アメリカの光と影

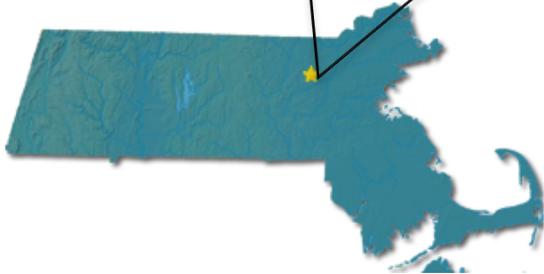
リンダマン香織

要約

- 自己紹介
 - マサチューセッツ州コンコルド町
 - 地域（町）ベースの安全
- 日常生活における安全
 - 食生活における安全
 - 銃社会における安全
- 健康な生活 ⇒ 安全／安心
 - 医療保険制度
- 防災／復興の国際比較

自己紹介：コンコルド

- 人口：1.76万（神奈川区の約7.5 %）
- 面積：67平方キロ（神奈川区の2.8倍）
- 歴史：英国との独立戦争の舞台
- 文化：数々の文豪の出身地



コンコルド（政治）

- 5人の「行政委員」による行政運営
- 町民参加型タウンミーティング（年1回）
- 年間予算（75億円）
- 町新聞（週一回発行）

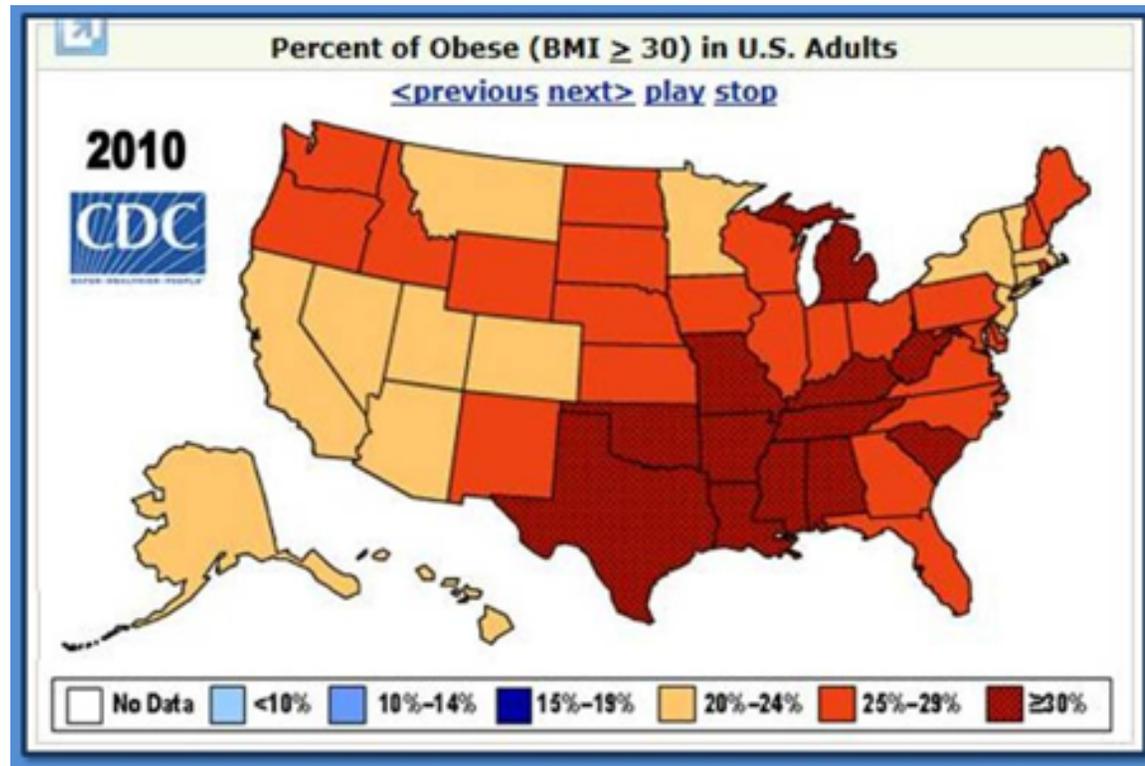


日常生活における安全

- シートベルト、チャイルドシート着用率
- ヘルメット着用率（自転車、スキー）
- インターネット／ソーシャルメディア
 - 犯罪（誘拐、いじめ、個人情報の盗難）
 - プライバシーの流出（国によるスパイ活動）

食生活における安全

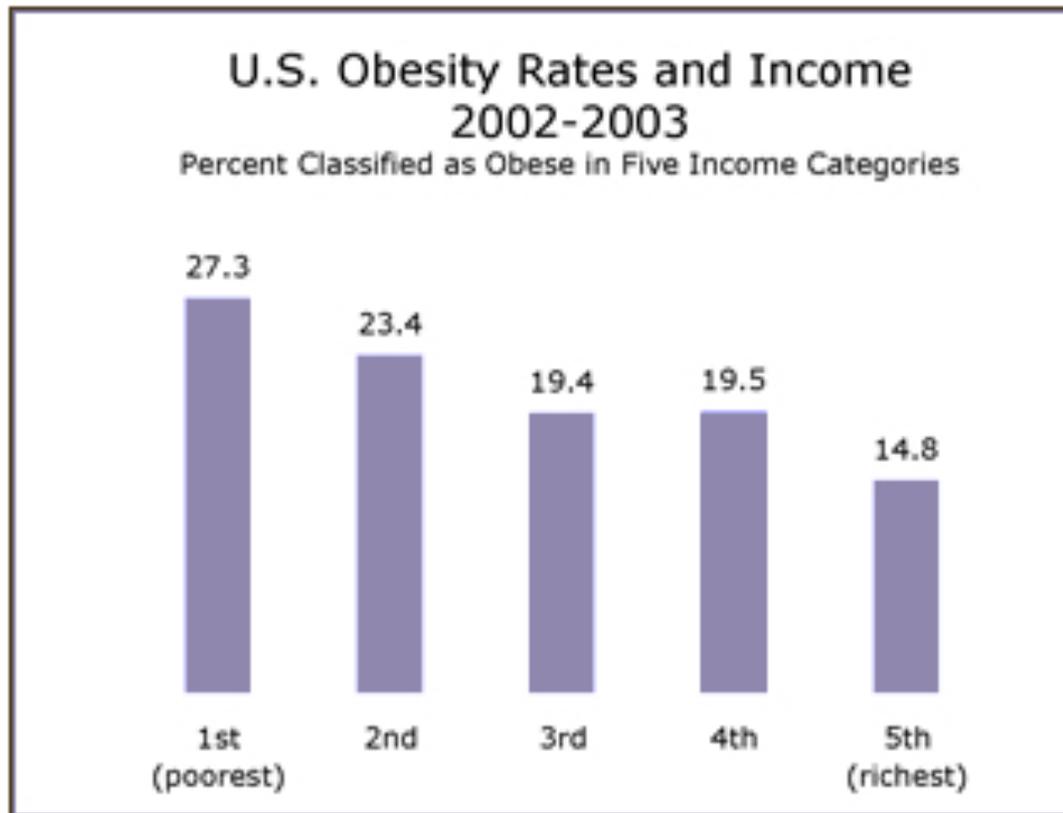
- アメリカにおける肥満



出典：米国疾病対策予防センター（Center for Disease and Control）

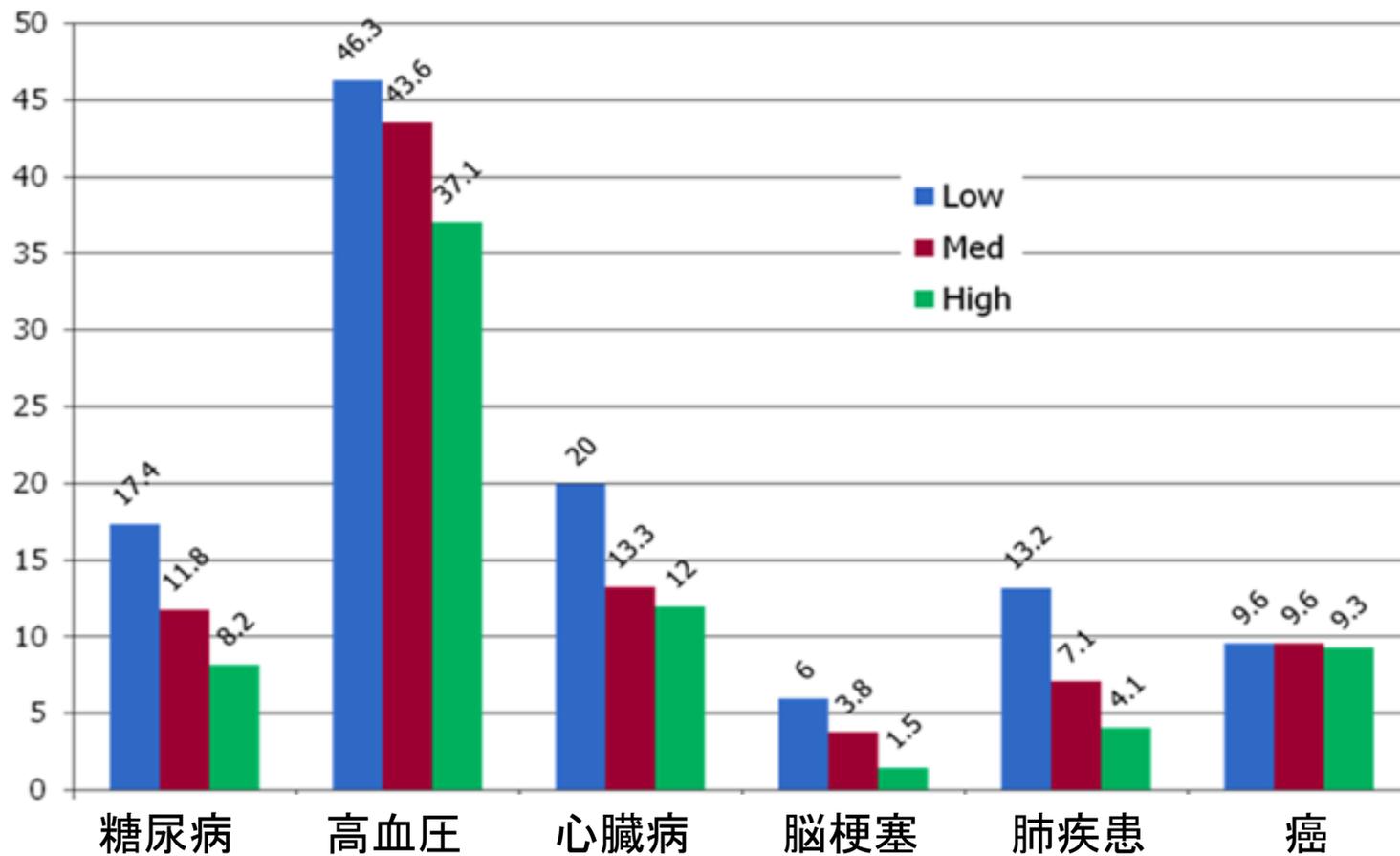
肥満 vs. 所得

- アメリカにおける肥満と所得の関係



出典：米国疾病対策予防センター（Center for Disease and Control）

肥滿 vs. 所得



出典：<http://kevishere.wordpress.com/2011/11/05/inequality-health-disparities-obesity/>

銃社会アメリカ



○ 銃所有率

- 一般市民が所有する銃の数：約 2.83 億挺
（米人口：3.16 億人）
- 銃の年間販売数：約 450 万挺
- 銃所有世帯の割合：33%（2009年）
- 銃所有1世帯当たり所有数：6.9挺
（2004年）

出典：<http://heedinggodscall.org>

銃社会アメリカ（続）

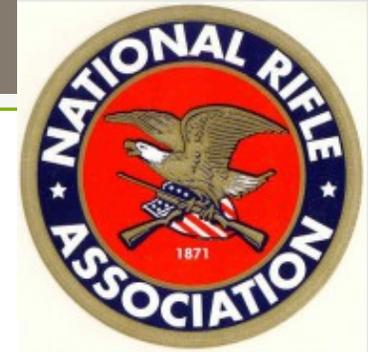
○ 銃を原因とする死者数

- 年間死亡者数：3万人以上（一日あたり30人以上）
- 若年層（15～24歳）の死亡原因2位
- 銃による年間殺人数
 - 日本：50人以下
 - 米：1万人以上

出典：<http://heedinggodscall.org>



銃社会アメリカ（続）



- 米で「銃規制」は何故（ほぼ）不可能か？
 - 規制を嫌う「小さな政府」信奉者
 - 米国憲法修正条項第2条
 - サンディフック小学校銃乱射事件の余波
- 組織化されたロビーグループ > 市民
 - 全米ライフル協会（NRA）

学校におけるセキュリティ

- ロックダウン訓練
 - 消灯、施錠、死角への避難



安全／安心 ⇔ 自由

○ 子どもの安全をどう守るか？



Natick Recreation and Parks Department
"Create Community through People, Parks and Programs"

CORI REQUEST FORM

Natick Recreation and Parks Department has been certified by the Criminal History Systems Board for access to conviction and pending criminal case data. As an applicant/employee for the position of _____, I understand that a criminal record check will be conducted for conviction and pending criminal case information only and that it will not necessarily disqualify me. The information below is correct to the best of my knowledge.

Applicant (Employee/Volunteer) Signature _____

A GOVERNMENT ISSUED PHOTO ID MUST ACCOMPANY THE CORI FORM.
Note: A drivers license, passport or school ID are all acceptable types of photos.
CLASS PICTURES ARE NOT CONSIDERED GOVERNMENT ISSUED PHOTO ID'S

EMPLOYEE/VOLUNTEER INFORMATION
(PLEASE PRINT IN INK... NOT PENCIL)

Last Name _____ First Name _____ Middle Name _____
Current Address: _____
Please DO NOT use PO Boxes

Applcank, Maiden Name or Alias (if Applicable) _____
Date of Birth _____
Sex: M F Last 4 Digits of Social Security Number _____
(Required by Massachusetts Dept of Criminal Justice)
Height: _____ ft. _____ in. Weight: _____ lbs. Place of Birth (Country) _____
Former Address: _____ Street (Please DO NOT use PO Boxes) _____
ID Then Index PW (if Applicable) _____
Eye Color: _____
Maiden Name _____
Mothers Maiden Name _____
State Driver's License Number: _____
Street (Please DO NOT use PO Boxes) _____
Town _____ ST _____ Zip _____
Town _____ ST _____ Zip _____

Requested by: _____ State _____ Number _____
Signature of CORI Authorized Employee _____ Jonathan Marshall, Director • NRPD

COMPLETED FORM w/PHOTO ID MUST BE RETURNED TO THE RECREATION AND PARKS DEPARTMENT

Staff Use Only

The above information was verified by reviewing the following form of government issued photographic identification: _____
ID type _____ Staff initials _____ Date _____

PHAFD 1/13
179 Boden Lane • Natick, Massachusetts 01760 • Phone (508) 647-6030 • Fax (508) 647-6035 • Website <http://natickma.gov/recreation>



訴訟社会の弊害？？？

子どもの安全

- 「鍵っ子」は違法？
 - 10歳以下の子どもを未監督な状況で放置
 - 2年～5年の懲役
- 州毎の差異
 - イリノイ州：14歳以上
 - オレゴン州：10歳以上
 - メリーランド州：8歳以上



子どもの安全（続）

○ 子ども ・ 家族局

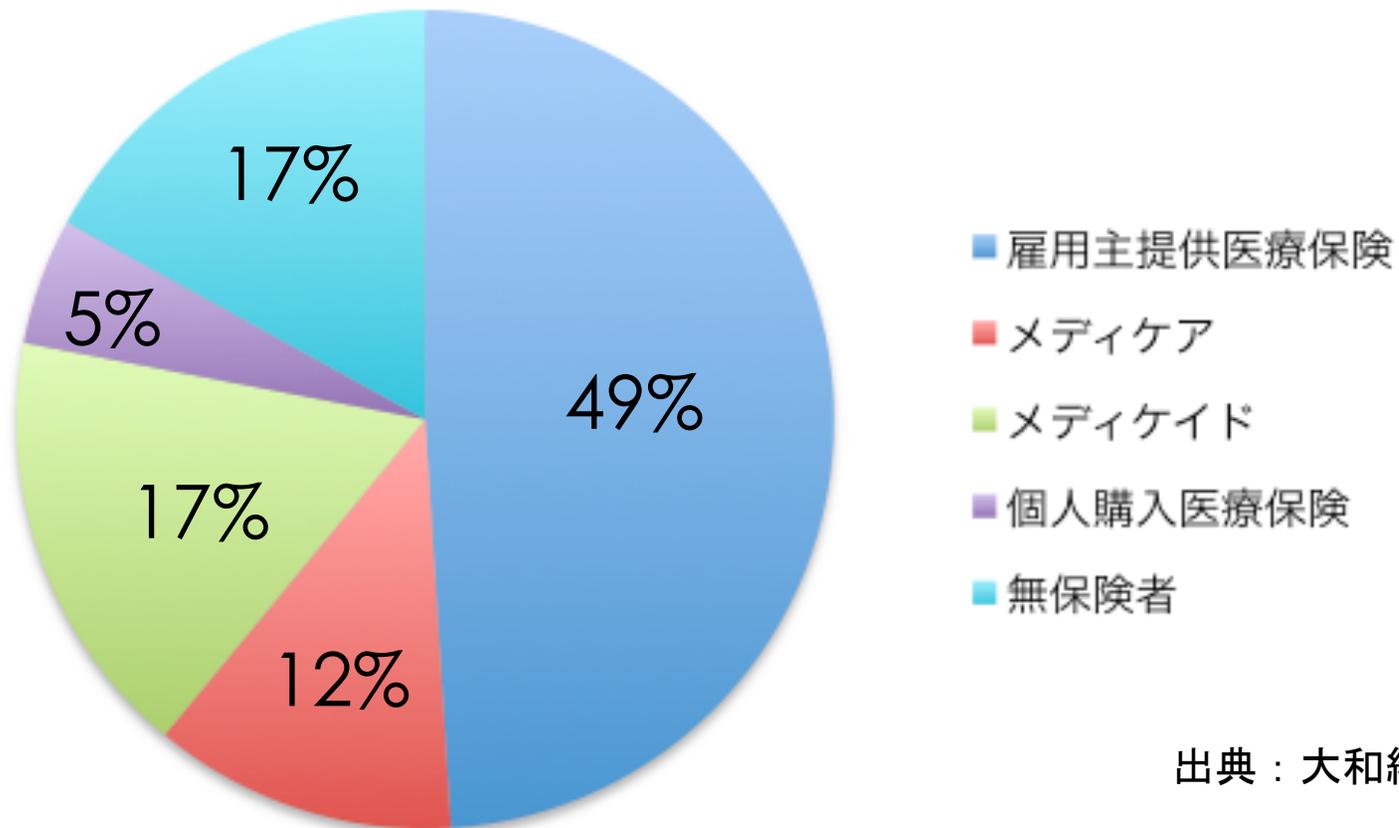
(Department of Children & Families)

- 虐待
- フォスターケア
- 養子縁組



医療保険制度

○ アメリカにおける保険の種類（2009年）



出典：大和総研

医療保険制度（続）

○ 医療費の高騰

- 過去10年、年率約6%上昇
- 2兆7007億ドル（2011年）
- 医療費対GDP比：17.9%（日本：8.2%）
- 医療保険料の急騰（1999年～2013年）
 - インフレ：40%増
 - 名目賃金：50%増
 - 保険料：182%

医療保険制度（続）

- 高額な医療費 + 国内における価格格差
 - 例：結腸内視鏡検査
- 価格を抑えるインセンティブの欠如
 - 医療＝利益を追求するビジネス
- 医療関係者によるロビー活動
- 「顧客」である患者：著しく不利な状況
 - 情報の非対称性

医療保険制度の社会的影響

- 低所得者層の抱える問題
 - 不健康な食生活
 - 保険への未加入、医療費の高騰
 - ・ 予防／検査の怠り
 - ・ 病状が悪化するまで待つ
- 「オバマケア」の問題
 - 高額な保険料
 - 州政府の反発

防災／復興の国際比較

○ ニュージーランド

- 福祉国家、「大きな政府」
 - ・ 「政府の社会的義務」に対する意識？
 - ・ 人口規模？
- 日本と類似した「地震国家」
 - ・ クライストチャーチ地震（2010～2011年）
 - ・ 死者185人
 - ・ 被害総額：約200億NZドル（1.78兆円）

地震保険制度 (EQC)

- 背景
- 1945年設置、1993年に全面改正
 - 強制加入（火災保険に自動付帯）
 - 火災保険の0.5%
 - 引き受け限度額
 - 居住物件：10万NZドル（840万円）
 - 家財：2万NZドル（168万円）
 - 90%の住宅がEQC対象
 - 基金額：4560億円（2006年）

防災／復興の国際比較

○ ハリケーン・カトリーナ（アメリカ： ニューオーリンズ）

- 被害地域：23万平方キロメートル
- 死者：1420人
- 住宅被害：約120万戸
- 被害総額：750億ドル
(7.64兆円)



出典：<http://www.maff.go.jp/primaff/koho/seika/project/pdf/cr23-6.pdf>

ハリケーン・カトリーナ

○ 稚拙な政府の対応

- 大規模災害への準備不足
- 強制避難命令の遅れ
- 「復興計画」策定の乱立
 - ルイジアナ復旧機関（州知事）
 - ニューオーリンズ回復委員会（市長）
- FEMAの対応

復興における「社会関係資本」 の重要性（アルドリッチ氏）

○ 被災地の復元／生活再建

インフラの復旧
公共事業

vs.

ソーシャルキャピタル

○ ケーススタディ

- 関東／阪神大震災
- ハリケーンカトリーナ（ニューオーリンズ）
- スマトラ沖地震／インド洋大津波

出典：朝日新聞 2013年4月20日

復興における「社会関係資本」

- ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）
＝人のつながり、信頼感
 - 社会運動、デモ数（関東大震災）
 - NPO、街づくり組織の数（阪神大震災）
 - 結婚式、葬式の件数（インド洋大津波）
 - 投票率の高さ（ニューオリンズ）

復旧 vs. 復元力

リカバリー（復旧）

- 金銭的援助
- 公共事業
- 住宅や道路の再建



災害に強い街

復旧 vs. 復元力

ソーシャル・キャピタル



レジリエンス（復元力）



災害に強い街

結論

貧富の格差

+

「自由主義」の伝統
「小さな政府」支持

「究極の資本主義」

富・資金／経済力

=

政治力

「究極の資本主義」における 勝者と敗者

- 勝者（大企業）による「ルール作り」
 - 選挙戦中の寄付、ロビー活動



- 銃規制
- 医療保険制度、医療費
- 教育費
- 食品に関する法律
- 税制度

結論

- アメリカ社会は、市民に「安全／安心」な環境を提供しているか？